

「モータースポーツ オープニングセレモニー2026」を実施

-スーパー耐久初戦 もてぎ大会にてシーズン開幕を宣言-

一般社団法人 日本自動車会議所は、2026年の国内モータースポーツシーズン開幕にあたり、3月21日のスーパー耐久シリーズ開幕戦に合わせ、モビリティリゾートもてぎ（栃木県茂木町）にて、オープニングセレモニーを開催いたしました。

セレモニーには、レース統括団体である日本自動車連盟、日本モーターサイクルスポーツ協会のほか、四輪を代表するプロモーターである GT アソシエーション、日本レースプロモーション、スーパー耐久未来機構の代表者が一堂に会し、日本自動車会議所 豊田会長と共に 2026年モータースポーツシーズンの開幕を宣言、業界全体が一丸となって盛り上げていくとの意気込みを示しました。



開催概要

日時：2026年3月21日（土） ※スーパー耐久シリーズ開幕戦会期内

場所：モビリティリゾートもてぎ（栃木県茂木町）

参加団体・登壇者：

JAF	（一般社団法人日本自動車連盟）	：会長 坂口 正芳
MFJ	（一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会）	：会長 鈴木 哲夫
GTA	（株式会社 GT アソシエーション）	：取締役 金曾 裕人
JRP	（日本レースプロモーション株式会社）	：代表取締役社長 上野 禎久
STMO	（一般社団法人スーパー耐久機構）	：副理事長 桑山 晴美
ABAJ	（一般社団法人日本自動車会議所）	：会長 豊田 章男

開催の背景と意義

国内モータースポーツは、四輪・二輪、フォーミュラ・GT・耐久など、多様なカテゴリーが独自の魅力を持ちながら発展してきました。

カテゴリーの垣根を越えて主要団体が一堂に会し、「日本のモータースポーツをともに盛り上げていく」という意思を共有する場として、本セレモニーを開催いたしました。ファン、地域、パートナー企業の皆さまへの感謝を示すとともに、2026シーズンの成功を祈念し、日本のモータースポーツ文化のさらなる発展を目指します。

今後の展開

2026シーズンは、各カテゴリーで新たな挑戦や技術革新が進む一年となります。日本自動車会議所は、昨年立ち上げたモータースポーツ委員会を通じて関係団体と連携しながら、ファン拡大、関係人材確保、DX推進など、モータースポーツの持続的な発展に向けた取り組みを進めてまいります。